

論点等説明シート

事業名	建設分野における外国人受入れの円滑化及び適正化	担当部局庁	不動産・建設経済局
事業についての論点等			
事業の背景・目的等	近い将来高齢者の大量離職等による担い手減少が見込まれる建設分野において、在留資格「特定活動(建設就労)」及び「特定技能」による外国人材の受入れの適正化及び円滑化を実現し、将来的な担い手の確保を図る。		
論点	<p>①国が実施主体として「特定活動(建設就労)」において行ってきた適正就労監理のノウハウが、特定技能制度において就労監理に十分に活かされているか。また、これまでの就労監理の取組を踏まえ、例えば、業界全体の労働関係法規の理解促進など、今後必要な対応は何か。</p> <p>②「将来的な担い手の確保」につなげるため、アウトカム指標として「特定技能外国人の失踪率」及び「特定技能2号の人数」を設定しているが適切か。</p> <p>③特定技能における就労監理システムの改修等を行っているが、受入計画の審査期間を短縮効果を十分に上げていたか。例えば、認定計画における変更手続きの簡素化など、今後必要な対応は何か。</p>		